

参考値

福島第一 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

(データ集約：10/6)

採取場所	2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央西向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル中央北向)		2号機原子炉建屋上部 (ブローアウトパネル下部)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年10月5日 9時26分～10時26分		平成23年10月5日 9時26分～10時26分		平成23年10月5日 9時26分～10時26分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.3E-05	0.01	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.2E-05	0.00	ND	-	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 1 0⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表 3 核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性の I-131 が約 6E-6Bq/cm³、Cs-134 が約 2E-5Bq/cm³、Cs-137 が約 2E-5Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 4E-6Bq/cm³、Cs-134 が約 1E-5Bq/cm³、Cs-137 が約 1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。